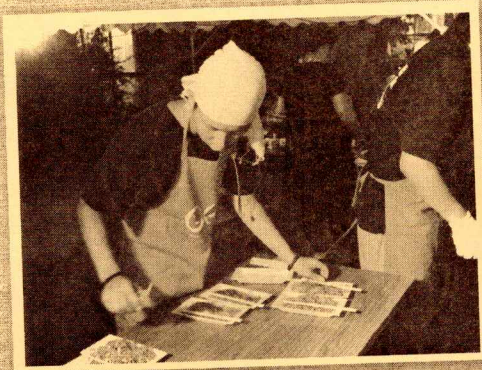


発行 社会福祉法人 聖友ホーム  
聖友乳児院（乳児院）  
聖友学園（児童養護施設）

# ぴーちっこ



8月26日お楽しみ会より



- コラム 「絆」 聖友乳児院心理療法担当職員 寺島 愛子 ..... 2
- この指とまれ ボランティアさん紹介2 ..... 3
- ふわふわ 楽しかったホーム活動 ..... 4
- すくすく 聖友学園松坂自立援助基金とは？ ..... 5
- あっちこっち パースデーケーキの紹介 ..... 6

〒166-0001 杉並区阿佐谷北 3-28-19  
Eメール(共通) seiyugakuen@nifty.com  
ホームページ(共通) <http://www.seiyuhomu.or.jp/>

聖友乳児院 TEL 3338-1849 FAX 3338-4679  
聖友学園 TEL 3338-1844 FAX 3338-1894

## 『絆』

聖友乳児院心理療法担当職員

寺島 愛子



絆とはそもそも、絶つことのできない人と人との結びつきを意味しているわけですが、私たちはおそらく、生まれたその瞬間から様々な人々との絆に囲まれているのでしょうか。

人が存在しているところには、必ず他者との結びつきがあります。一人の子どもが生まれ、成長するには、その両親・きょうだい・おじいちゃんとおばあちゃん・親戚の人たち・出産を見守ってくれた医師や看護師・保育園や幼稚園・学校の先生方・友達・先輩や後輩・さりげなく成長を見守ってくれる地域の方々。本当に、たくさんの人々との関係性に支えられ、影響を受けながら育っていきます。

現在、乳児院には何らかの事情によって保護者と一緒に生活することのできない子どもたちが入所しています。入所している子どもたちの年齢は、0歳

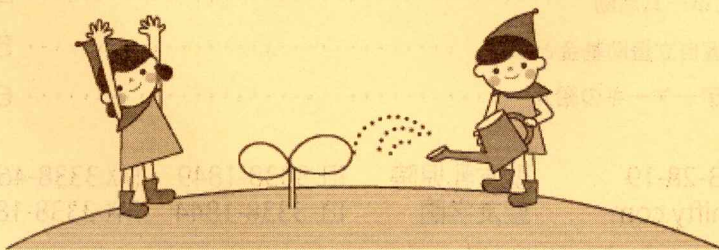
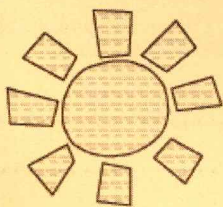
から2歳くらいまでの、とても小さな子どもたちです。この頃の子どもたちは、大人と心理的な絆を結び、人というのは信頼できる、何かあったときには助けてもらえるという基本的信頼感を育んでいくとても大切な時期にあります。

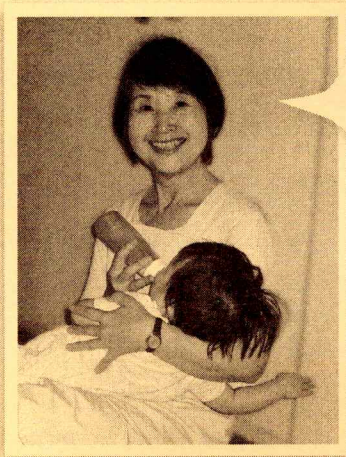
目にはみえないその絆を結ぶため、乳児院の職員たちは、日々奮闘しているわけですが、子どもたちからみれば、それで十分ということはありません。職員はもちろんのこと、ご家族の方々・地域のボランティアさん・家庭がどういふところなのか教えてくれるフレンドホームさん・乳児院と一緒に子どもたちを大切に育ててくれる里親さんなど、様々な方に大切に愛され、安心できる生活環境の中で色々な体験を積み重ねていってこそ、その子どもが育ちが安定します。

乳児院は、子どもたちの育ちにとって、必要不可欠な絆を結ぶ中継地点のようなものです。乳児院から保護者の方へと養育をバトンタッチするための中継地点です。バトンタッチする中で何か心配なこと、わからないことがあれ

ばお話を聴かせていただき、保護者の方と一緒に考えていきます。

一人でも多くの子どもたちが大人と絆を結び、絆から絆へと育ちのバトンタッチができることを心から祈っています。



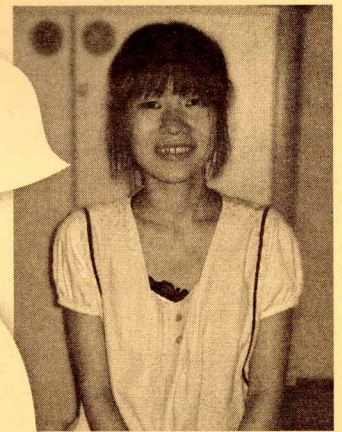
**このゆび  
とまれ**
**ボランティアさん紹介 第2弾**


聖友乳児院の保育ボランティアを始めてから15年。  
私にとっては非常に楽しい場です。  
自分自身が生き生きできます。 by 塩見さん

もも組の保育ボランティアで1年5か月になります。  
子どもたちの成長の早さに驚きながら、  
毎週、楽しくお手伝いしています。 by 前島さん

いちご組の保育ボランティアをめて今日で二回目  
です。泣いている姿も、笑っている姿も子どもは  
感性豊かで“かわいいな”と思います。

もも組の保育ボランティアをはじめて4か月です。  
私は保育学科の学生で乳児院の現場を少しでも見ること  
ができればボランティアをやらせていただいています。  
毎週元気いっぱいの子もたちと遊んだり、おむつ交換、  
授乳など 様々な経験をさせていただき、職員の方々の声  
かけや関わりを学ばせてもらっています。  
関わりで難しいなと思うことも多々ありますが、子ども  
たちからパワーをもらい楽しくやらせてもらっています。  
by 黒川さん

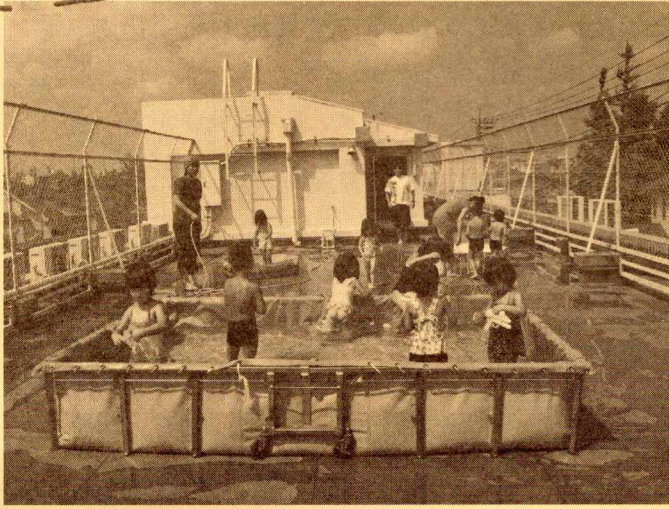


20年余り、毎週楽しませて頂きました。子どもは地域社会で育つものと思い、  
保育のボランティアを続けてきましたが、日中の時間が 思うようにならず、  
これからは縫い物で細く長くお手伝いを・・・と、思っています。  
by 大内田さん

前回紹介しきれなかったので、ボランティアさん紹介第2弾となりました。最近ではホームページを見て応募して  
下さる方も増えていて、乳児院は大助かりです。今後も機会をみてどんどんご紹介していきたいと思っています。



今年の夏は暑かった！  
本号は聖友学園の夏の行事の一部を紹介したいと思います。



### 幼児プール

聖友学園では毎年屋上にプールを組み立て、幼児が体を思いっきり動かし元気いっぱい水遊びをしています。時には喧嘩をしてしまうこともあります。

それでもすぐに仲直りをし、皆で元気に夏を満喫しました♪

### 楽しかった!! ホーム活動

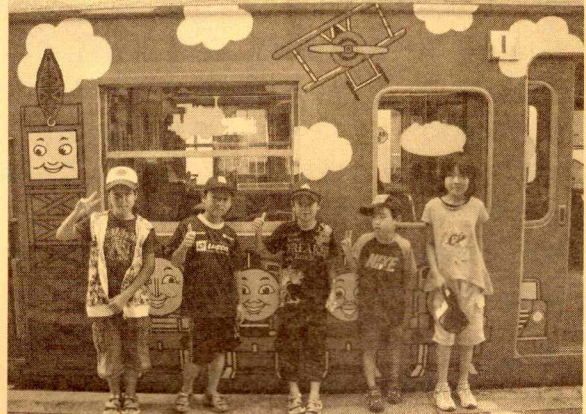
聖友学園の余暇活動のひとつにホーム活動があります。8つのホームごとにそれぞれ職員と子どもたちが内容について話し合いを重ね計画してきました。この夏のホーム活動の一部です。

#### ♡ サボテンホーム♡

ボーリングをしました。  
学年別対抗戦を行い、とても白熱した試合になりました。  
次はスキ〜!!!  
こっちも楽しみにしています。

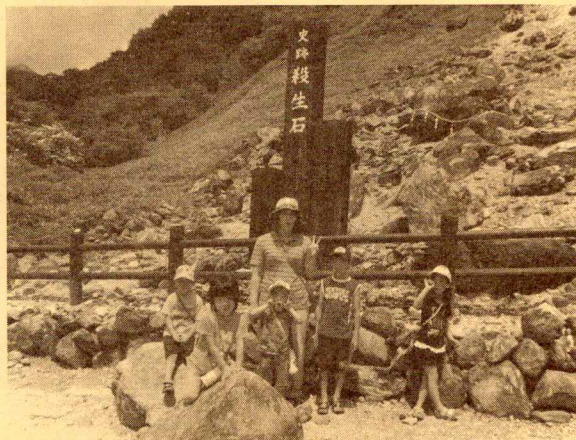
#### ♪ メロディホーム ♪

豊島園に行きました。  
午前中はプール、午後は乗り物へ☆  
天気が良くてアイスクリームがと〜ってもおいしかった!!  
楽しい一日でした ☆




#### ★ けやきホーム ★

富士急ハイランドに行ってきました。  
大きい子は日本一のジェットコースター FUJIYAMAに挑戦!! 絶叫しました。  
小さい子は怖かったのでトーマスランドでのんびり遊びました。😊



✿ 菫ホーム ✿

那須高原で1泊してきました。  
 自然がたくさんあり、  
 カブトムシやくわがたを   
 を見つけました。  
 南が丘牧場ではうさぎやポニー  
 と触れ合ってきました。  
 たくさん自然と触れ合えました。

とても暑い夏でしたが、みんなこのように元気に過ごすことができました。



『聖友学園松坂自立援助基金』

とは？



子どもたちの  
 旅立ちを応援  
 いただけます

昭和24年上野・松坂屋で保護された松坂國男さんは、児童養護施設で育ちましたが、その後も心身に様々な苦勞を体験し、昭和58年1月、病に倒れ、独身のまま36歳の短い生涯を終えました。彼の心情を理解し支えてきた人々が集まり、無償の力を合わせ彼の墓を建立し、残額を児童養護施設の児童の奨学金、独立資金として寄付してくださいました。寄付金は彼の足跡及び彼を支えてきた人々の意を汲み取り「聖友学園松坂自立援助基金」とし、永く児童の自立を援助する資金として活用されています。

『聖友学園松坂自立援助基金』賛助会へご協力をお願いします。

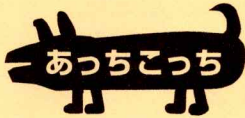
この基金の意義をご理解いただき、基金の拡充にご賛同いただける方を会員として、会費納入をもって児童の自立支援に協力することを目的とする会が、『聖友学園松坂自立援助基金賛助会』です。

会費：1ヶ月 200円      年額：2,400円

会費納入：毎年7月、年額を郵便振込み（事務局より振込依頼書送付）

収支報告：納入会費は年度末に一括して「基金」に寄付。「基金」の収支はぴーちっこに掲載。

子ども達の自立のための資金援助にご協力ください。



今回紹介するお店は、日大通り  
杉並第九小学校のバス停近くにあるケーキ屋さん

## シリアルマミー 阿佐ヶ谷本店

シリアルマミーさんには今年の4月より聖友学園の子ども達の誕生日ケーキ(B)を作っていただいています。このケーキがとても可愛くて細部にまでデコレーションされているのです。子ども達は大はしゃぎ♪ひとつ大きくなる喜びに加え、おいしくて可愛いケーキで祝福されれば忘れられない誕生日になる事は間違いない!?!でしょうか



「デセールキャラメル」(C) フランスパンを卵につけて焼き、ホイップクリームで彩ったお菓子。シリアルマミーさん一押しの大ヒット商品！通信販売で1日に3万個の売り上げを記録した事もあるとか…。動物わたろうや杉並区のキャラクターのなみすけが印刷されているクッキー (A) もあります。他にも写真を持参するとチョコプレートに印刷してくれ、ケーキの上に飾ることのできるプリントデコレーション (D) などオリジナルの商品ができるそうです。目でも舌でも楽しめるお店なので是非一度足を運んでみてください♪

住所 杉並区本天沼 1-1-13

電話 03-5327-3700

♪ぴーちっこ広場に  
お集まり下さい♪

「ぴーちっこ」は皆様とたくさんのお話ができる広場になろうとスタートしました。

皆様には「おたより」のかたちで広場に集まっていただき、子どもたちに関する様々な事柄を一緒に考えていきたいと思っています。

皆様からのたくさんのお便りをお待ちしております。下の用紙を切り取って、ご意見、ご感想などお寄せください。

※Eメールの場合は、件名に「ぴーちっこ係」と入れてください。

「ありがとうございました」

次の皆様よりご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

(平成22年4月～平成22年9月。敬称略)

〈寄付金〉

柞山樹青、大林ミカ、高西説子、高木博子、朝日管財株式会社、財団法人東京青少年文化協会、株式会社日配運輸、佐藤千鶴子

〈寄贈物品〉

柞山樹青、大林ミカ、榊原裕子、永井雪栄、林あき子、林泰敬、藤田理、牛島忍、石川エリ、花王株式会社(次頁へ)

のりづけ

Handwriting practice area with horizontal lines and a vertical dashed line.

※今後継続して「ぴーちっこ」の送付を希望されますか？ ・はい ・いいえ

ご住所

TEL

お名前

FAX

おる

〈寄贈物品〉

株式会社チュチュアンナ、社団法人日本将棋連盟、東京都食肉生活同業組合、株式会社ナルミヤインターナショナル、セカンドハーベストジャパン

〈バースデーフレンド〉

梅澤文治、野口由理、杉本秀哉、豊島みのり、藤川民子、岩下英之、大澤芳子、村上千代子、森真理子、杉本千景、林あき子、酒井香子、神崎早苗、高山千賀子、杉本洋子、磯野和子、野村栄子、宮秋智子、福山はつ子、善塔和子

〈おたのしみ会お祝い〉

深澤久子、徳田紀美子、増田れい子(民生委員)、世尊院幼稚園園長大澤聖隆、小林優花、新井美和子、市川アナルシア、高木博子、床次瑞彦、交友会、中央花壇、ロードベーカーリー、三井精肉店、遠藤果実店、広瀬青物店、ワタナベ文具店、道原商店、魚音、西島畜産、豊嶋屋豆腐店、五十嵐青果店

● 編集後記 ●

前号でお知らせしたお楽しみ会は30名以上の来園があり、児童職員とも大忙しでした。本当にありがとうございました。あらためて地域の皆さんとの絆を大切にしていきたいと感じました。これから寒い日が続きます。風邪などひかぬよう気をつけてお過ごしください。

ぴーちっこ編集委員一同

1 6 6 - 8 7 9 0

料金受取人払

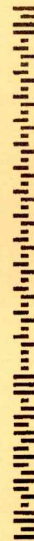
杉並支店  
承認

4119

差出有効期間  
平成24年1月  
9日まで  
(切手不要)

東京都杉並区阿佐谷北 3-28-19

聖友ホーム「ぴーちっこ」係 行



See you next!

